

平成 25 年 6 月 20 日
中部地方整備局

深層崩壊に関する渓流(小流域)レベルの調査について

1. 概要:

国土交通省では、平成 22 年 8 月に「深層崩壊推定頻度マップ」を公表するなど、深層崩壊に関する調査を進めてきました。

今回中部地方整備局管内の、静岡県東部の一部、木曽川上流域、飛騨川上流域（資料 1）の調査結果（資料 2）がとりまとめましたので公表します。公表資料は担当事務所のホームページに掲載しておりますので、2. 担当事務所ホームページ URL をご覧下さい。

調査実施箇所で今回未公表範囲については、調査結果の精査、取りまとめが完了次第、順次公表いたします。

なお、「深層崩壊に関する渓流（小流域）レベル調査について」は国土交通本省において、平成 24 年 9 月 10 日に記者発表をしています。

（http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000552.html）

2. 担当事務所ホームページ URL:

□ 静岡県東部の一部

沼津河川国道事務所 <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/index.html>

□ 木曽川上流域・飛騨川上流域

多治見砂防国道事務所 <http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/index.html>

3. 添付資料:

○ 資料 1 中部地方整備局 深層崩壊渓流（小流域）レベル評価区域図

○ 資料 2 深層崩壊渓流（小流域）レベル評価マップ

○ 参考資料 1 「深層崩壊」とは



4. 配布先：中部地方整備局記者クラブ

【参考】

事務所配布先

○沼津河川国道事務所

沼津記者会・三島記者クラブ

○多治見砂防国道事務所

木曽地区、高山地区、岐阜県政記者クラブ、日刊建設工業新聞

日本工業経済新聞社、日刊工業新聞社、建通新聞社、建設通信新聞

【問い合わせ先】

○深層崩壊調査全般に関わること

国土交通省 中部地方整備局

河川部 総合土砂管理官

おおいし まこと
大石 誠

090-5621-5564

河川部 河川計画課 課長補佐

まつした かずき
松下 一樹

090-3385-5813

電話 052-953-8148 (直通)

○深層崩壊溪流（小流域）レベル評価結果に関わること

沼津河川国道事務所

建設専門官（砂防担当）

まつばら かつひこ
松原 克彦

電話 055-934-2003 (直通)

多治見砂防国道事務所

砂防調査課 課長

ありさわ としほる
有澤 俊治

電話 0572-25-8024 (直通)

○ 調査、評価の方法

今回の渓流（小流域レベル）の調査結果は、以下に示す方法により一定の地域内における、深層崩壊が発生する「相対的な危険度」を示したものであり、評価区域内での適合性を最適化するため、評価区域毎に評価要素の指標を分析、設定しています。このため、評価結果は、あくまで、評価区域内での相対評価であり、評価区域が異なる場所と評価結果を比較する事ができないことに注意してください。

資料1で示す範囲について、「深層崩壊の発生の恐れのある渓流抽出マニュアル（案）」（独立行政法人土木研究所）に基づき調査を行っており、概略の手順は以下のとおりです。

- ① 空中写真判読等により、比較的簡便に調査が可能な以下のA～Cの3要素を調査し、約1km²の渓流毎に整理
 - A 深層崩壊の発生実績
 - B 地質構造及び微地形要素
 - C 地形量（勾配及び集水面積）
- ② 地質や気候条件が概ね等しいと考えられる地域（以下、評価区域）毎に、B及びCの指標を分析・設定
- ③ 評価区域内の相対的な危険度を、3要素の有無により4段階（3つあり、2つあり、1つあり、なし）で評価し、地図に色分けして表示（資料2）

